

《問い合わせ先》

第八管区海上保安本部（ 0773-76-4100 ）

マリンレジャー安全推進室

人身事故担当（警備救難部 救難課長）

米本（よねもと） 内線 3250

船舶海難担当（交通部 企画課長）

安部（あべ） 内線 2610



平成27年1月29日

第八管区海上保安本部

## 平成26年における海難の発生状況（速報値）

船舶海難は、全体で133隻（前年比：1隻）、これに伴う死亡・行方不明者は18人（前年比：14人）（資料 1(1)参照）

人身事故は、全体で156人（前年比：51人）、うち死亡・行方不明者は39人（前年比：27人）（資料 1(2)参照）

船舶海難、人身事故ともにマリンレジャーに関するものは、若狭湾海域での発生が多く、また、京阪神、中京地区等からの来訪者によるものが多い

船舶海難：船舶の衝突、乗揚等船舶に関連した事故

人身事故：船舶海難によらない乗船者の事故及び海浜等での事故

### 1 特徴

#### (1) 船舶海難

船舶海難133隻のうち、プレジャーボートによるものが73隻(55%)と最も多く、次いで漁船によるものが47隻(35%)、これらで船舶海難全体の約9割を占める。（資料 2(2)参照）

##### <プレジャーボートによる船舶海難>

プレジャーボートによる船舶海難(73隻)のうち、若狭湾海域で発生したものが約8割の55隻（資料 2(3)参照）

同海難の船長の約6割は県外からの来訪者であり、そのうち約8割が京阪神、中京地区からの来訪者（資料 2(4)参照）

若狭湾海域事故のうち、春のレジャーシーズンは天候急変によるミニボート等の帰還困難、秋季は機関故障が多い

##### <漁船による船舶海難>

漁船による船舶海難(47隻)のうち、山陰海域で発生したものが約8割の37隻（資料 2(5)参照）

同海難のうち、衝突、乗揚海難で約4割を占め、その原因の多くは見張り不十分や居眠り運航によるもの（資料 2(6)参照）

< 船舶海難に伴う死亡・行方不明者 >

死亡・行方不明者(18人)のうち、本邦に寄港しない外国船舶によるものが13人

(2) 人身事故

人身事故156人のうち、マリンレジャーに伴う事故が74人で、全体の約5割を占める。このうち、遊泳中の事故者は30人(40%)と最も多く、次いで釣りに関連した事故者が28人(38%)、これらでマリンレジャーに伴う事故全体の約8割を占める。なお、マリンレジャー以外の事故は82人で、このうち自殺によるものが31人(38%)と最も多く、次いで乗船中の負傷が19人(23%)でマリンレジャー以外の事故全体の6割を占める。(資料3(2)参照)

< マリンレジャーに伴う事故 >

マリンレジャーに伴う事故者(74人)のうち、若狭湾海域で発生したものが約6割の44人(資料3(3)参照)

同事故者の約6割が県外からの来訪者であり、そのうち約9割が京阪神、中京地区からの来訪者(資料3(4)参照)

< 飲酒遊泳中の事故 >

飲酒遊泳者の事故は3人に減少(前年14人)したものの、3人全員が死亡(資料3(5)参照)

< 釣りに関連した事故 >

釣り事故者(28人)のうち、約7割の20人は海中転落によるもので、このうち半数の10人が死亡(資料3(6)参照)

## 2 平成26年の主な取組み

周年を通じ、マリンレジャー施設や漁協等における安全指導、道の駅等における安全啓発リーフレット等の配布、事故防止のための講習等を実施

集中的な安全推進活動

- ・ ゴールデンウィーク及び夏季マリンレジャー安全推進活動  
(4/26～5/6、7/1～8/31)
- ・ 全国海難防止強調運動(7/16～7/31)
- ・ 釣り事故防止推進活動(10/11～10/31)

若狭湾海域でのレジャー事故防止を対象とした、新たな取組みを展開

- ・ 高速道路SA・PAにおいて安全推進活動を実施(活動場所の増強)
- ・ 近隣府県の教育委員会へ学級新聞等に海水浴中の事故防止策について記載を依頼し、若年齢層・保護者に対する安全啓発を実施
- ・ 釣り事故多発を受け、緊急かつ集中的な釣りに関する事故防止活動  
(12月上旬～1月上旬)

### **3 今後の取組み方針**

平成26年の取組み等により、人身事故及びこれに伴う死亡者については減少傾向にあることから、引き続き同様の活動を継続・強化するとともに、若狭湾を中心とした施策を管内全域に展開

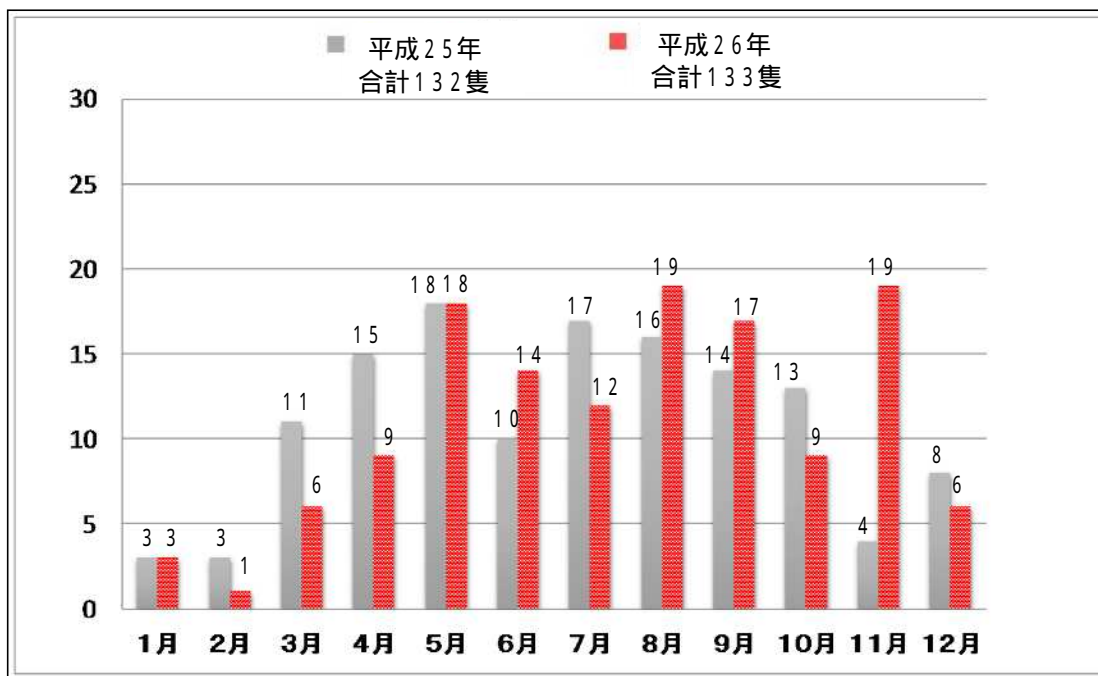
若狭湾海域では依然としてプレジャーボート海難が多く発生していることから、以下の更なる取組みを集中的に実施

- ・ミニボート等に対する現地指導
- ・具体的な事故事例の周知による啓発活動
- ・隣接管区や関係機関等と連携した啓発活動

# 1 平成25年・26年海難発生状況

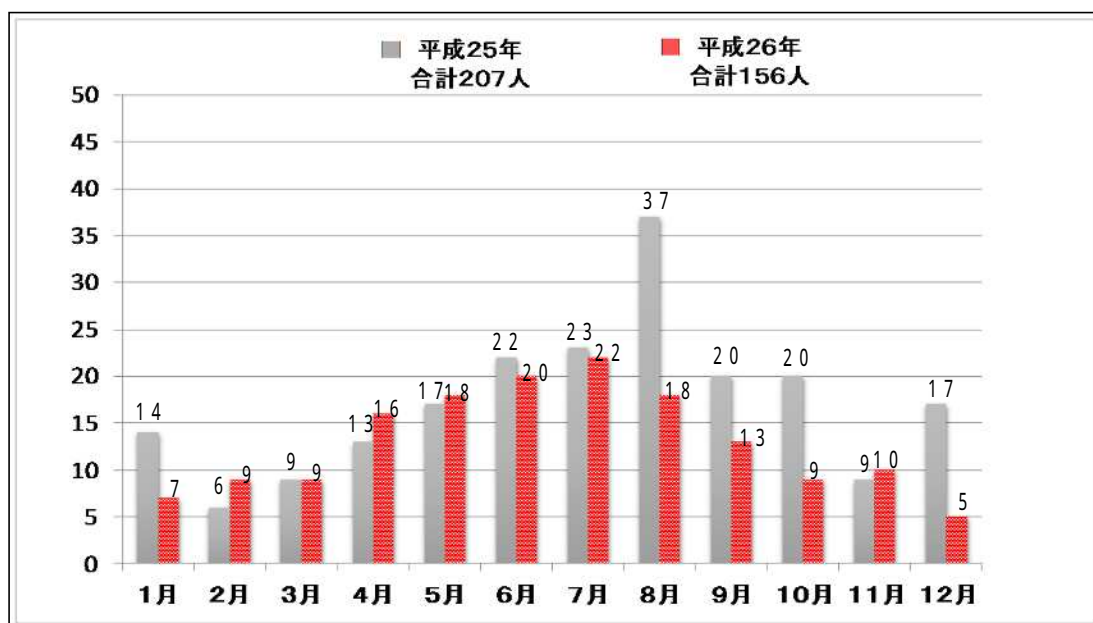
## (1) 船舶海難月別発生状況

月別隻数



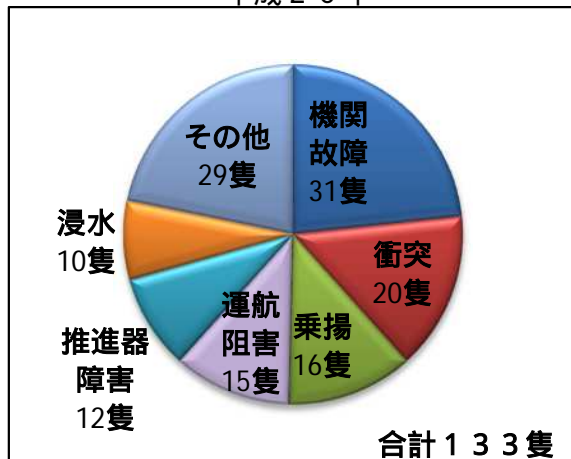
## (2) 人身事故月別発生状況

月別人数

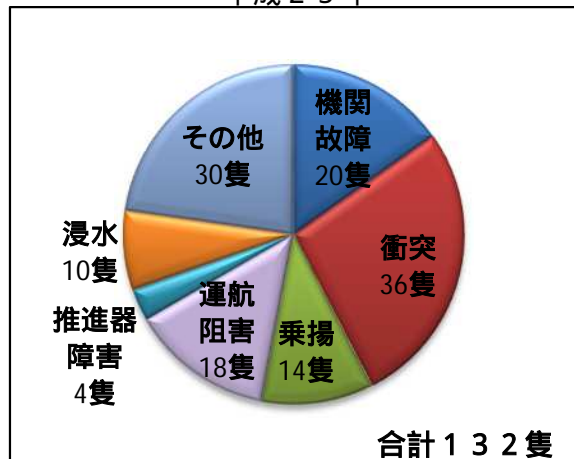


2 船舶海難  
 (1) 海難種類別

平成26年

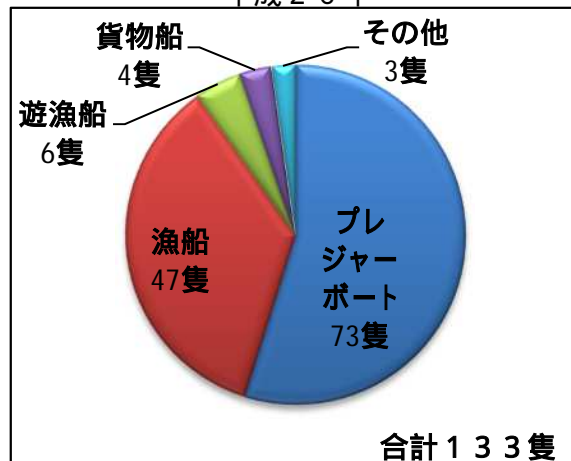


平成25年

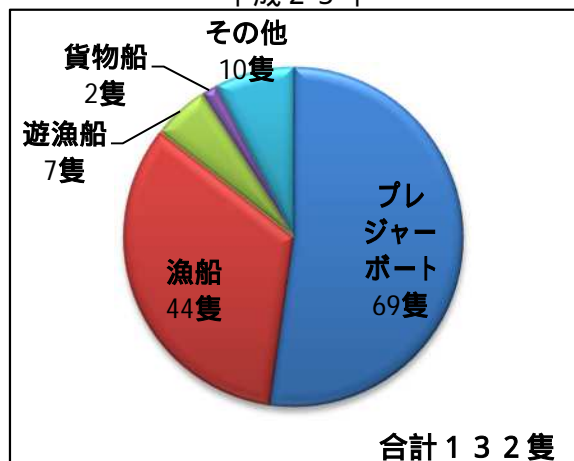


(2) 船舶用途別

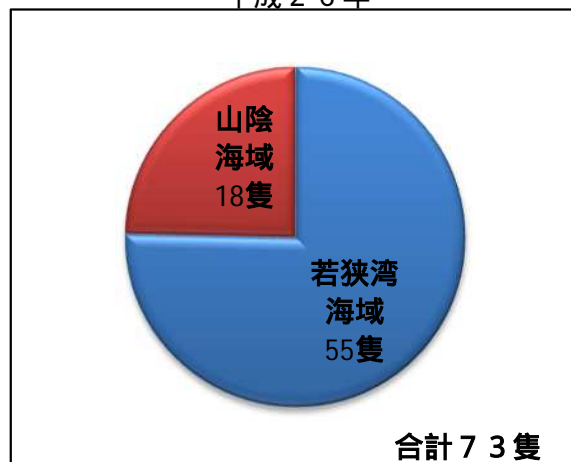
平成26年



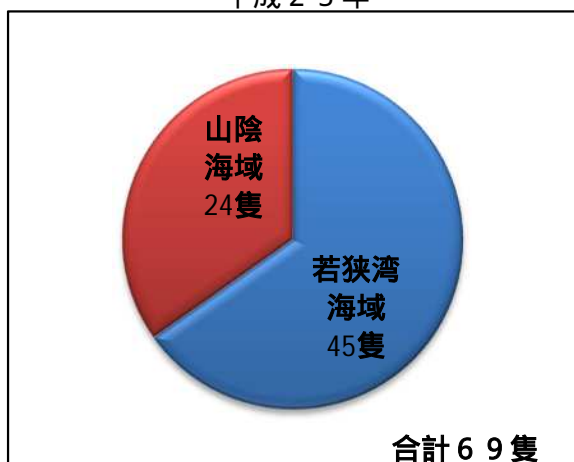
平成25年



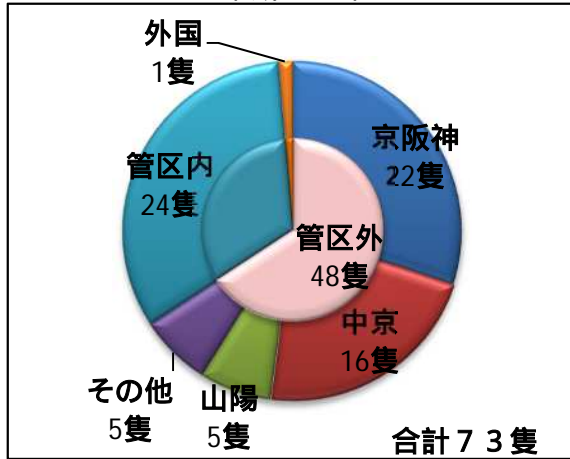
(3) プレジャーボート海難 発生海域別  
 平成26年



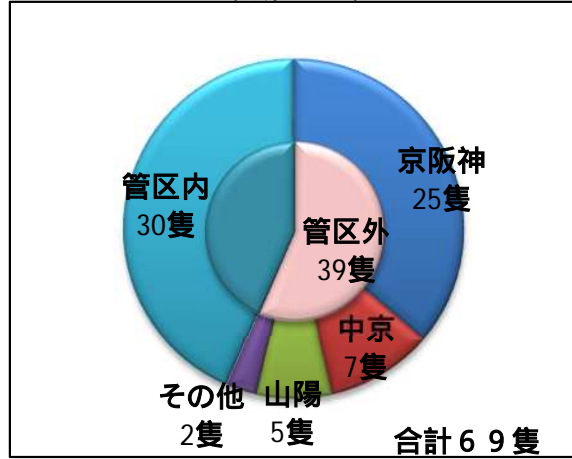
平成25年



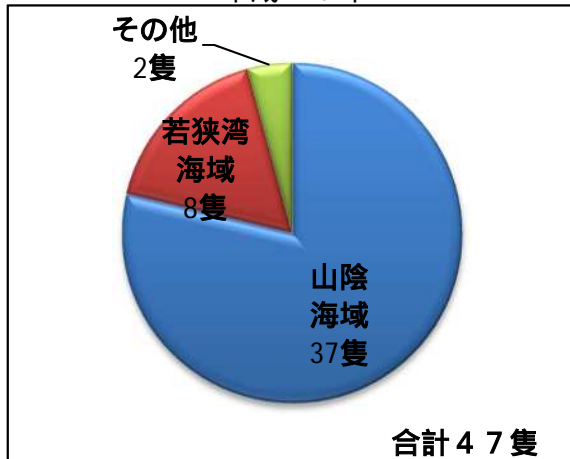
(4) プレジャーボート海難 船長居住地別  
平成26年



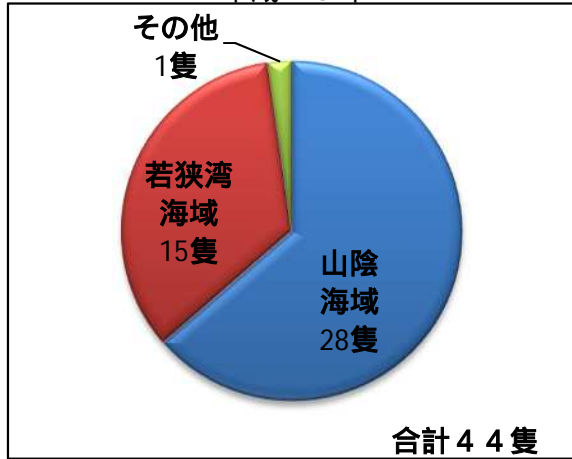
平成25年



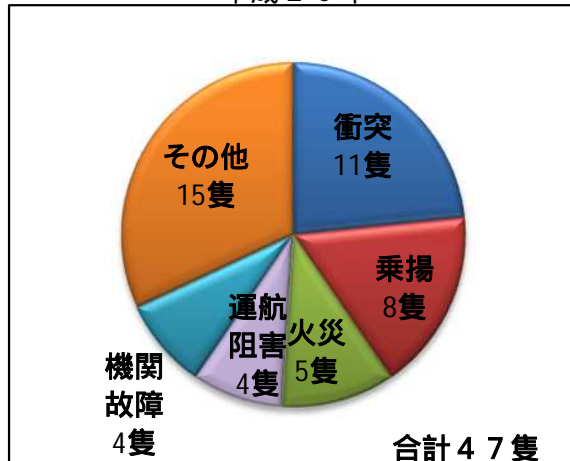
(5) 漁船海難 発生海域別  
平成26年



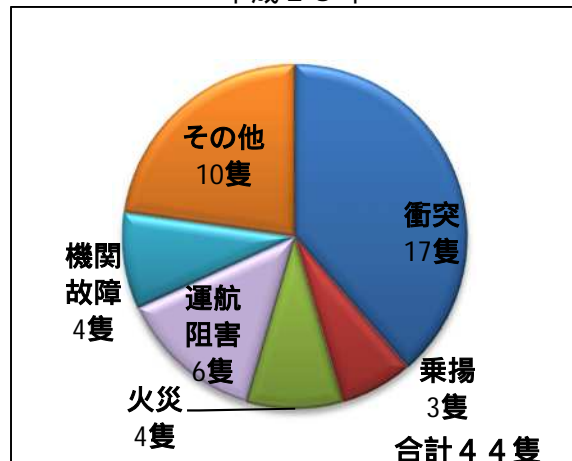
平成25年



(6) 漁船海難 海難種類別  
平成26年

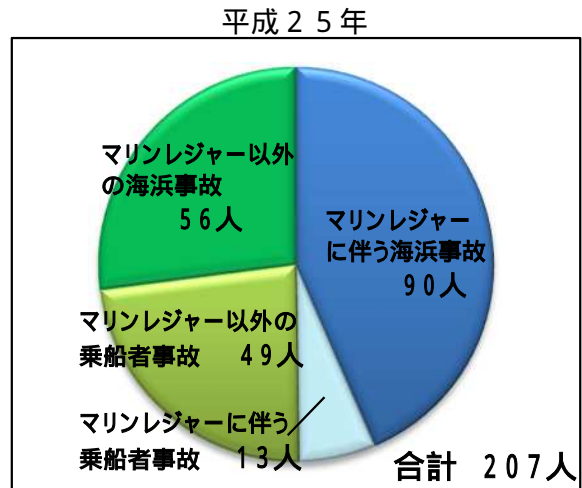
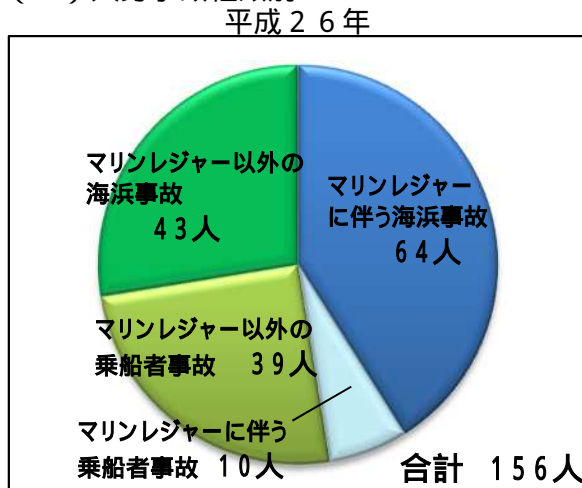


平成25年

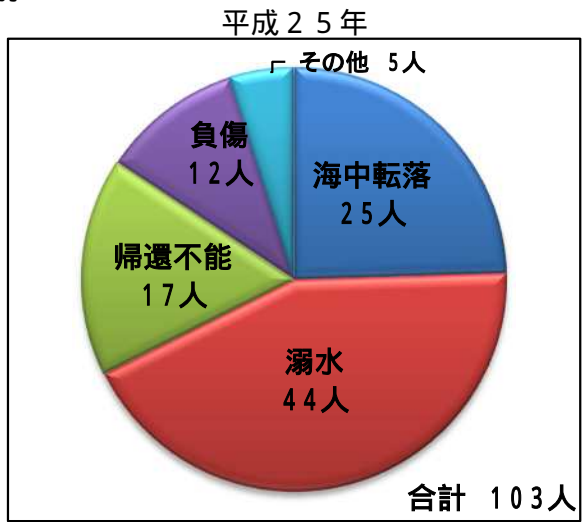
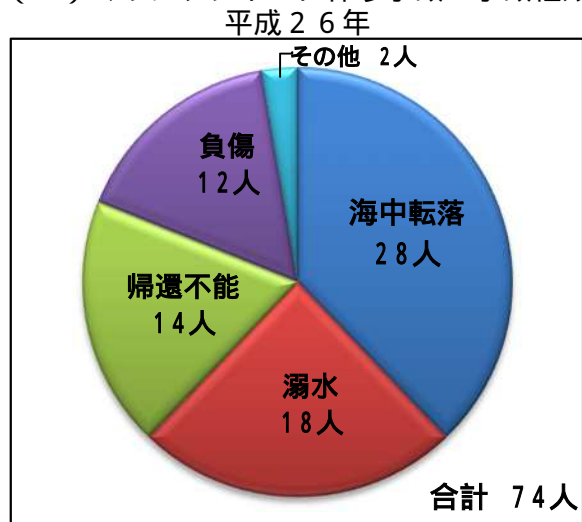


3 人身事故

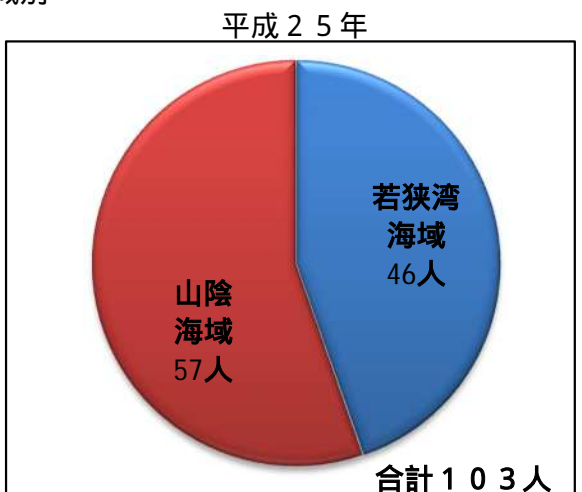
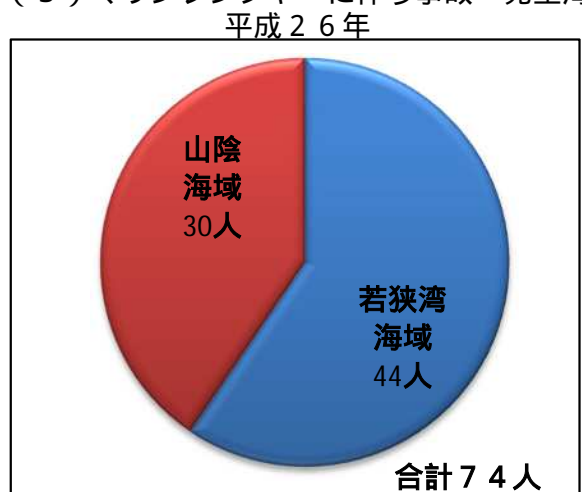
(1) 人身事故種類別



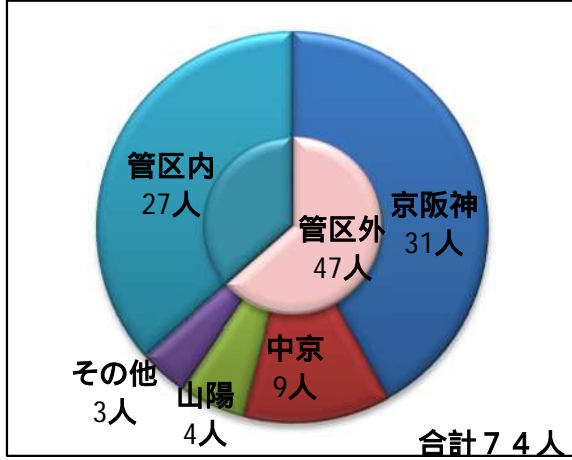
(2) マリレジャーに伴う事故 事故種類別



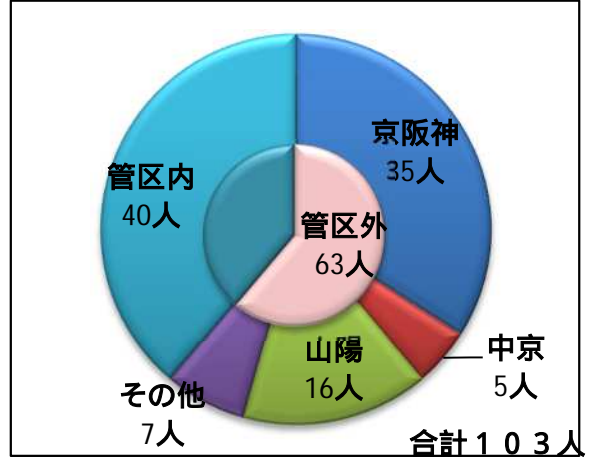
(3) マリレジャーに伴う事故 発生海域別



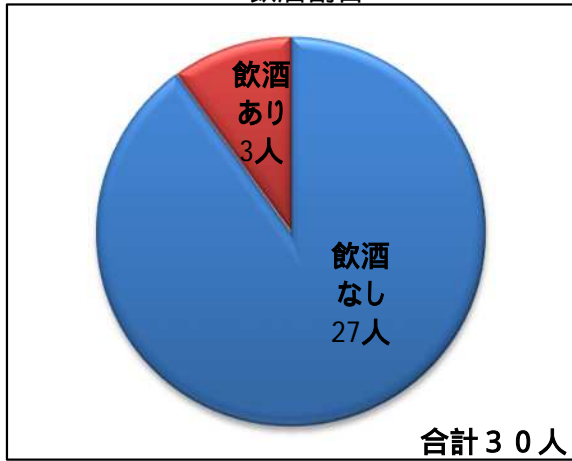
(4) マリンレジャーに伴う事故 居住地別  
平成26年



平成25年



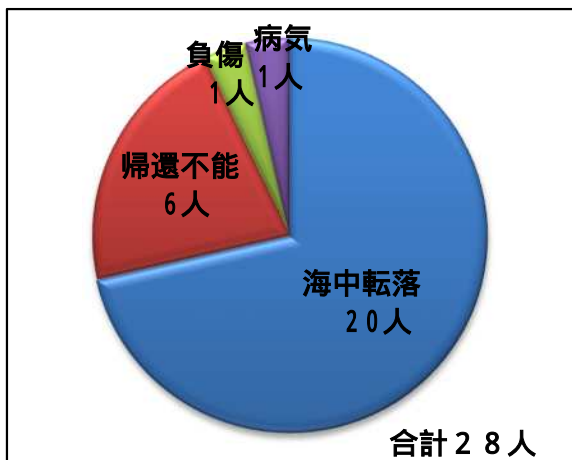
(5) 遊泳中の事故 飲酒別  
飲酒割合



飲酒あり



(6) 釣り事故の種類別



海中転落による死亡者

